

主要行事・イベント実施予定

時/時間 場/場所 料/料金 問/問い合わせ

11月

～10日(日) 能美市総合文化祭

場/根上総合文化会館など 問/生涯学習課 (☎ 58-2272)
詳細は広報のみ 10月号と一緒に全戸配布したパンフレットをご覧ください。
※ 11月3日(日・祝)に開催を予定していましたが陶磁器鑑定会は、諸般の事情により中止となりました。



2日(土)

タント名曲選 クラシック&ジャズ 秋の調べと夢のハーモニー
能美市ゆかりのミュージシャンが集い、ジャズとクラシックのコラボレーション演奏や、世界的ジャズトランペッター大野俊三さんが特別にアレンジした能美市合併10周年記念曲「Song Of Nomi」のスペシャルバージョンをお届けするドリームステージです。チケットの購入が必要です。詳しくは広報のみ 10月号と一緒に全戸配布したチラシをご覧ください。
時/開場 15時30分 開演 16時 場/根上総合文化会館 料/全席自由 1,000円
問/根上総合文化会館 (☎ 55-8550)、観光交流課 (☎ 58-2211)、辰口福祉会館 (☎ 51-4511)



3日(日・祝)

能美市賞・能美市表彰 表彰式
時/10時～ 場/根上総合文化会館 問/総務課秘書室 (☎ 58-2202)

10日(日)

能美市アンサンブルコンサート ゲスト/遊学館高等学校バトントワリング部
時/14時 場/根上総合文化会館 問/根上総合文化会館 (☎ 55-8550)

第1回能美市議会臨時会

時/10時～ 場/市役所議場 問/議事調査課 (☎ 58-2240)

14日(木)

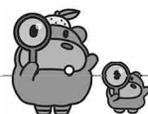
～17日(日) 第12回子どもマイスターウィーク(展示)
時/9時30分～19時(17日は18時まで) 場/根上総合文化会館
表彰式は16日(土)の9時30分～11時00分 サイエンスショーは16日(土)の13時～14時
問/学校教育課 (☎ 58-2271)

ふれあいあいさつデー

朝の登校時間に子どもたちへ声掛けをお願いします。問/生涯学習課 (☎ 58-2272)

15日(金)

児童虐待防止啓発講演会「ママのイライラへの処方箋～体の仕組みを知り、自分をケアする～」
時/19時～20時30分(開場18時30分) 場/辰口福祉会館
詳しくは広報のみ 11月号16ページをご覧ください。



～17日(日) 市内企業紹介ブース展示

時/9時30分～19時(17日は18時まで) 場/根上総合文化会館 問/商工課 (☎ 58-2254)

16日(土)

国際交流ひろば～世界とつながる特別な1日!～
時/11時～15時 場/辰口福祉会館
詳しくは全戸配布したチラシをご覧ください。
問/観光交流課 (☎ 58-2211)、能美市国際交流協会 (☎ 57-3751)



19日(火)

～24日(日)「子どもマイスター賞」巡回展(辰口図書館)
時/9時～18時 問/学校教育課 (☎ 58-2271)

NHKラジオ番組「古楽の楽しみ」公開収録 ※観覧申込者(入場整理券をお持ちの方)のみご来場いただけます。

23日(土・祝)

時/14時30分 場/根上総合文化会館 問/根上総合文化会館 (☎ 55-8550)

男女共同参「学」i nのみ 高校生とともに学ぶ男女平等

時/13時30分 場/寺井地区公民館 料/一般300円 問/地域振興課 (☎ 58-2212)

26日(火)

～12月1日(日)「子どもマイスター賞」巡回展(寺井地区公民館)
時/9時～19時(1日は17時まで) 問/学校教育課 (☎ 58-2271)

30日(土)

第13回能美市ファミリーコンサート ゲスト/加藤 登紀子 **チケット残りわずか**
時/15時 場/根上総合文化会館 料/S指定席4,500円 A指定席3,500円 自由席2,500円
問/根上総合文化会館 (☎ 55-8550)

12月

3日(火)

第4回能美市議会本会議(初日)
時/10時～ 場/市役所議場 問/議事調査課 (☎ 58-2240)



いしかわ動物園に行こう！

20th Anniversary

■正面ガラス化で、より近く、より鮮明に

文：いしかわ動物園

開園 20 周年記念事業の一環として、バードストリートにあるフクロウ類展示場のリニューアルを行いました。ここでは、3つのスペースに、それぞれシロフクロウ、オオコノハズク、フクロウを展示していたのですが、檻越しの見にくさや植栽に隠れて、とくに後 2 者はその姿をなかなか見つけることができませんでした。

今回の主な改修点は、「檻のフェンスをガラス化」「仕切り柵の前進」「植栽のシンプル化」の 3 点です。特にガラス化では、反射低減フィルムを貼りつけることによって、周囲の人物や景色の映り込みを抑制し、中の鳥たちがたいへん見やすくなりました。また展示場奥にあるスペースには、フクロウ類を楽しく学べるミニ展示コーナーも設けました。

動物園全体からみれば小さな変化かもしれませんが、この後も展示場の魅力アップ作業が続きます。これらの積み重ねが終わる数年後の動物園を、どうぞお楽しみに。



▲左からフクロウ、オオコノハズク、シロフクロウ



▲リニューアルした展示場(フクロウ)

みんなの図書館

おすすめの一般書



イモムシ偏愛記
吉野 万理子 [著]
光文社

虫嫌いの少女・凧が出会った、虫好きのおばあさんと大きな緑の庭。恋も友情も母親との確執も、虫が優しくほめてくれて…。多感な少女の心の成長を描く、爽やかでほろ苦い青春ストーリー。

おすすめの児童書



おおにしせんせい
長谷川 義史 [作]
講談社

図画工作の時間。さっさと廊下を描いて終わらせて、友だちと遊ぼうと思っていたばくは、「その廊下は絵の具そのままの色か？」という先生からの一言で心が動き出し…。すばらしい先生との大切な出会いを描いた、自伝的絵本。

Event

■根上図書館

「こどもおはなしランド」
日時 11月24日(日) 10時30分～
場所 根上図書館 おはなしのへや
内容 読み聞かせほか
出演 えほんファミリー

■辰口図書館

「POPバトルにご投票ください！」
期間 11月1日(金)～12月1日(日)
辰口地区の小学校5年生が描いたPOPのうち、10点を辰口図書館で展示します。読んでみたいと思ったPOPに1票をご投票ください。

■「休館のお知らせ」

寺井図書館は、11月4日(月)～令和2年1月13日(月)の期間、館内工事のため休館します。休館中は根上・辰口図書館をご利用ください。

※詳しくは、ホームページ、各図書館だよりをご覧ください。

国造ゆず祭り 2019

毎年恒例の国造ゆずのイベント。今年のテーマは「ゆず縁づくり～国造地区のゆずを通して、人と人がつながり、豊かな暮らしづくり～」。生産者、消費者、在住者等のつながり・縁づくりによる豊かな暮らし・地域づくりを推進します。

日時 11月9日(土) 10日(日) 9時～15時

会場 能美市こくぞう里山公園交流館と周辺



▲ゆずいろのくにホームページ



●生産農家による「国造ゆず」「国造ゆず 100%果汁」の販売

●国造ゆず関連商品テント市

●石川県特別栽培農産物認証記念イベント

- お名前に「ゆず」「柚」のつく人、大集合！
特典：記念品、国造ゆずの育苗ポット
- 国造ゆずの種を育てよう！
先着 50 人、黄色いポットに土と種を入れて完成
- 種から育った国造ゆずの赤ちゃん木展示会！
一昨年・昨年の種から育った赤ちゃん木です。
- 能美市公式キャラクター「ひぼ能ん」「ゆず美ん」と記念撮影「ハイ、ユーズ！」
11時～、13時30分～、1回30分程度

●ゆずいろのくに☆がくえんさい「ゆず縁祭」

- 和気小学校 5 年生生活発表会 9 日 10 時～、40 分程度
- 翠星高校食品科学研究会生徒研究成果発表
- 東京大学、金沢学院大学、金城大学の学生も参加します。
- 国造ゆず PR 大使任命式
東京大学学生・坂田柚子香さん(9日) 8 時 50 分～
- ゆずいろのくに企画「メッセージを書いて貼って
大きな国造ゆずの木をつくろう！」

主催 国造ゆず祭り実行委員会(国造柚子生産組合、柚芽実会、能美柚ゆうゆう倶楽部、能美市国造地区ゆたかなくらし協議会) 協力 能美の里山ファン倶楽部
問い合わせ 実行委員会事務局(能美市農林課) ☎ 58-2256

※今年はコンシェルジュ(会場案内)を配置します。分からないことなどがあれば、お気軽にお問い合わせください。



見守り合い・支え合いの地域づくり 『認知症の理解を深め、地域の見守り合いについて考えよう！』 市民公開講座

日時 11月24日(日) 13時30分～16時30分(受付13時～13時30分)

会場 辰口福祉会館 交流ホール タッチ

認知症になっても住み慣れた地域に暮らし続けられることを目的に、見守り合いの地域づくりを先進的に取り組んでいる高原達也氏をお迎えして講演会を開催します。講演後、認知症の方への対応について学び、アプリを使って検索の模擬体験を行います。参加申し込みが必要となりますので下記までお申し込みください。

講師 社団法人セーフティネットリンケージ 高原達也氏
能美市キャラバン・メイト

申込締切 11月15日(金)

●申し込み・問い合わせ 我が事丸ごと推進課
(☎ 58-2234、☎ 58-4408)

ロシア風新年会

日時 12月14日(土) 14時～16時30分

会場 寺井地区公民館



ロシアからやって来るデド・モローズ(寒さおじいさん)とその孫娘のスネグロチカ(雪姫)とお正月の遊びや踊りを楽しみましょう！工作体験、お菓子作り体験などもあります。

対象 園児、小学生とその家族
料金 1人200円
*菓子作り参加の方は別途100円(材料費)
定員 100名(先着順)
申込期間 11月7日(木)～12月6日(金)

●申し込み・問い合わせ 能美市国際交流協会
(☎ 57-3751)

「絹本著色白山曼荼羅図」の魅力

文：歴史民俗資料館

絹本著色白山曼荼羅図とは

今回は、能美市所蔵の県指定文化財「絹本著色白山曼荼羅図」を紹介します。

掛軸3幅のセットで、絹の布に顔料で着色され、古来より霊峰として崇拝されていた白山の世界観が躍動感あふれ、色鮮やかに描かれています。

掛軸の裏書には、加賀藩の大工頭として白山比咩神社本殿などの建立に関わった清水治左衛門が、寛政元年(1789年)に奉納し、「芸台南肇」という人物が描いたと記されています。金沢の儒者楠部肇(1760年生～1820年没。号は芸台)のことではないかと考えられており、作成時期は不明ですが、奉納時期からすると、楠部20代の作でしょうか。

作成された背景

社はもちろん、山・木・雲も描かれ、ダイナミックな白山参詣図ですが、江戸時代中期の白山の管理権をめぐる競争によって生み出されたといえます。禅定道(登山道)のある加賀・越前・美濃それぞれでアピール合戦が行われ、加賀側の僧宝代坊は元禄16年(1703年)に仏像を神輿に乗せて、江戸で御開帳をしたりしています。

しかし、寛保3年(1743年)の江戸幕府の裁決によって、白山の管理権は越前の平泉寺に認められました。元々、越前・美濃と比べ、道の険しい加賀禅定道は利用者も少なかったため、更に廃れる可能性がありました。こうした事態を憂え、加賀側からの白山の壮大な山水景観を描くことによって、加賀禅定道の魅力を発信しようとしたのではないのでしょうか。

随所に描かれた白山伝説

また、白山にまつわる伝説も随所に描かれています。白山開山の僧泰澄が、修行で九頭竜の姿をした十一面観音に遭遇したとする場所や、欲深い酒売りの老婆が神罰によって石にされてしまった場所など、伝説名所を実際の道中で確認できるほど詳細に描かれています。白山信仰の世界を当時の人々に絵解きするため、持ち運びやすい掛軸の形になったとする説があります。

さて、来年開館する新博物館では、この白山曼荼羅図を紹介するコーナーが登場します。壮大に描かれた霊峰白山の姿や、ストーリーをご覧ください、この曼荼羅図を身近に感じていただけたらと思います。何度見ても感銘を与えてくれる、そんな逸品です。



新博物館の「白山曼荼羅図」を紹介するコーナー

人口と世帯数

2019年10月1日現在

●人口 50,206人 (前月比-63)
男 25,027人 女 25,179人

●世帯数 19,170世帯 (前月比-61)

ひぼ・ゆずのEcoでえこっさア

【紙パック】

飲み物などを入れる食品容器のため、良質なパルプを使っています。紙パックのパルプ繊維は太くて長いので、紙パック6枚でトイレトペーパーが1つ作れます。回収された紙パックの約50%がトイレトペーパー、約30%がティッシュペーパーにリサイクル。捨てずにリサイクルしないと損です。

▶リサイクルするときには…

- ①紙パックマークを確認 ②洗う ③開く ④乾かす ⑤紙ひもを剥がす

注意 内側がアルミ加工されたものはリサイクルできませんので、燃やすごみへ。

問い合わせ 生活環境課 ☎58-2217



甲冑スタンプラリー開催中!

4年後の2023年は、加賀立国1200年の記念の年。能美市、小松市が連携して、加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会が発足し、南加賀の遺跡の魅力発信に努めています。

その委員会の企画、第一弾が、こちらの甲冑スタンプラリー。能美市、小松市には甲冑が副葬された古墳が多く、貴重な資料を見学できる施設が3つあります。

能美市立歴史民俗資料館、河田山古墳群史跡資料館(小松市国府台)、小松市埋蔵文化財センター(小松市原町)の3館めぐり、条件をクリアすると、スタンプがもらえます。スタンプを3つ集めると…素敵な景品がもらえます!



3館をめぐって、スタンプをゲット!



スタンプ3つで景品をプレゼント!



さらに、復元甲冑を着て写真をSNSにアップすると特製トートバッグがもらえます!

実施期間：～11月30日(土)まで

※スタンプラリーの台紙は歴史民俗資料館または博物館事務室(辰口図書館2階)などで配布中。

※景品交換は、歴史民俗資料館と、小松市埋蔵文化財センターでのみ実施。

河田山古墳群史跡資料館では交換しません。

※復元甲冑の試着写真のSNSへの投稿による特典は、小松市埋蔵文化財センターでのみ実施しています。

お問い合わせは、加賀立国1200年遺跡魅力発信委員会事務局：小松市埋蔵文化財センター(小松市原町ト77-8)

電話：0761-47-5713 まで。

今月の手話

問い合わせ 福祉課 ☎58-2230、FAX 58-2294

インフルエンザの予防注射へ行きましょう!

【インフルエンザ】

①小指を立てて握った手を口元にあて、咳をする仕草をする

①-1

①-2

【予防】

①-1、①-2 左手のひらを立てる。右手親指以外の4指を直角に曲げ、指先を左手のひらにつけて、前へ押し出す

①-1

①-2

【注射】

①-1、①-2 左腕に右手3指(親指、人差し指、中指)で注射を打つ仕草をする

①-1

①-2

【行きましょう】

①人差し指で自分の胸元あたりを指差す

②下から弧を描くように前へ出す

①-1

①-2

10月 市内保育園で上演
人形劇で人権を考える

10月4日から28日にかけて市内6保育園で小松人権擁護委員協議会能美部会12人による人権人形劇が上演されました。

劇は動物たちが主役で、人権について子どもたちにわかりやすく伝えるような内容です。初日の宮竹保育園では、擁護委員の方が「よく知らないのに、嫌ったり避けたりするのはよくないこと。お友達と仲良く遊みましょう」と呼び掛けると、園児たちは「はい！」と元気いっぱい返事しました。



人形劇では素直に謝ることの大切さも伝えられました。

9月10月 まちむら交流イベント
里山へ行こう！

9月29日、こくぞう里山公園でまちむら交流イベント「里山へいこう！」が開催されました。竹工作など自然の素材を使ったクラフト体験や丸太でベンチ作りが行われ、来場者は里山の空気を満喫していました。

また、10月13日は金剛寺町で開催され、わらで巨大オブジェが作られたほか、地元食材を使った料理が販売され好評を博しました。

10月20日には仏大寺町で開催され、人形劇やお炭会によるたたら製鉄を楽しむことができました。



子どもたちが夢中になった「森のおはなし会」(こくぞう里山公園会場)

9月10月 九谷を楽しむ秋！
陶芸村でさまざまなイベントを開催

9月21・22日、九谷焼資料館前の駐車場で九谷焼と食のコラボイベント「九谷よこちょ」が開催されました。夕方からは浅蔵五十吉美術館と九谷焼資料館では普段とは異なる雰囲気の中で九谷焼鑑賞ができる特別イベント「KUTANI ナイトミュージアム」が開催されました。また、浅蔵五十吉美術館ではウルトラアートによるプロジェクションマッピングが行われ、フォトジェニックな空間が演出されました。

また、九谷陶芸村内では同日程で「九谷陶芸村まつり～秋の茶碗まつり～」が開催され、掘り出し物や逸品を買い求める来場者やステージイベントを楽しむ観客でにぎわいました。

- ①水盤に映像が反射する様子が神秘的なプロジェクションマッピング
- ②展示販売された九谷焼のアクセサリ「Wear KUTANI」
- ③石川・福井から集結した飲食店の屋台が並ぶ会場
- ④開催日を例年から変更した九谷陶芸村まつり



10/6 ようこそ動物園へ！
かわいい動物たちがお出迎え

今年開園20周年を迎えたいしかわ動物園。市は、その記念すべき年をさらに盛り上げようと、動物園前の市道照明灯に動物の顔や柄の装飾を施したほか、正面ゲート前には動物たちと記念撮影できるフォトスポットを設置し、10月6日、大釜屋保育園の園児らとともにお披露目式典を開きました。

照明灯にはトラやユキヒョウなど定番かつ動物園で人気の高い5種類の動物の装飾が施され、フォトスポットには動物園で特徴のある13種類の動物が描かれた撮影用看板と、実際に触れたり座ったりできるコビトカバとカピバラのモニュメントが設置されています。

まるで動物たちが来園者を「ようこそ！」とお出迎えしているかのようなわくわく感を高め、楽しくにぎやかな空間ができました。たくさんの方のお越しをお待ちしております。



10/5 10/6 生きる知恵(サバイバル力)を学ぶ「わくわく防災キャンプ」

長滝町で第2回「能美市わくわく防災キャンプ」を1泊2日の日程で開催しました。キャンプは、石川県で大きな直下型地震が発生し、自宅や指定避難所も危険な状態のため、広場に避難したという状況設定のもと行いました。避難所生活で発生しうる事象の活動プログラムが展開され、電気なし、ガスなし、水道なしの状況で参加者はかまど作りや火起こし、サバイバル飯作りなどに挑戦しました。

避難所生活で発生しうる問題に対する解決策を考えるプログラムとしては、ロープワークや応急処置法、非常用ランタン、牛乳パックでつくるホイッスル作り、そして、避難所では運動不足になることが想定されることから朝ヨガを実施しました。その他にも、災害教訓語り部の上野優子さんによる被災地支援の体験談、また慰問体験として、シンガーソングライター nonchamp さんから歌のプレゼントがありました。

- ①能美市版テント村の様子
- ②自分で結んだロープでブルーシートを持ち上げてみよう
- ③みんなでヨガをやってみよう
- ④参加者の皆さん日常生活では、味わうことのできない不自由さを楽しみ過ごし、生きる知恵(サバイバル力)を学びました。

